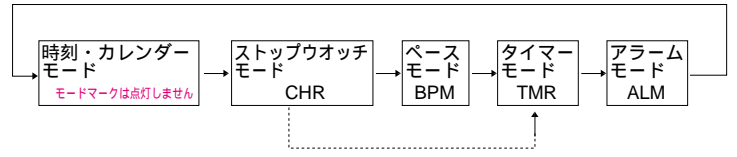


■製品の説明

例：時刻・カレンダーモード



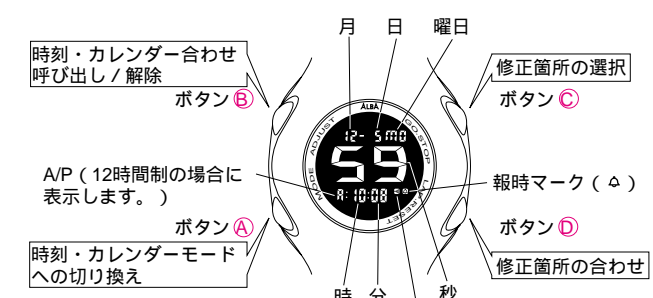
ボタンAを押すごとに、つぎの順序で切り換わります。



ストップウォッチがリセットされていない場合は、ストップウォッチモードよりベースモードを経たタイマーモードへ切り換わります。操作確認音がセットされていますと、モードを切り換えることに「ピツ」と鳴ります。(操作確認音については、「アラームの使いかた」を参照してください。)

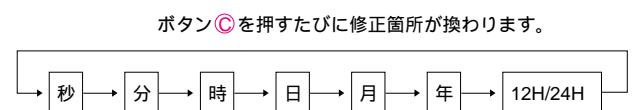
■時刻・カレンダーの合わせかた

ボタンの名称とはらき



ボタンAを押して「時刻・カレンダーモード」状態にしてください。ボタンBを2~3秒間押し続けると、「秒」が点滅し「時刻・カレンダー合わせ」状態になります。

ボタンCを1回押すごとに次の順序で合わせたいところ(点滅部)を選ぶことができます。年月日をセットすると「曜日」は自動的に設定されます。



ボタンCを押して「秒」を点滅状態にし、時報と同時にボタンDを押すと「00」に合います。秒表示が30~59秒のとき、ボタンDを押すと1分繰り上がって「00」に合います。時刻合わせは電話の時報サービス(TEL117)が便利です。

合わせたいところを点滅させたあとボタンDを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。ボタンDを押し続けると、早送りができます。

「時刻・カレンダー合わせ」が終了しましたら、ボタンBを1回押して「時刻・カレンダーモード」にもどしてください。押し忘れた場合でも2~3分後には「時刻・カレンダー表示」へ自動的にもどります。カレンダーは1994年から2049年までの年・月・日・曜がプログラムされていますので、この期間の大小や、うるう年でも修正する必要はありません。

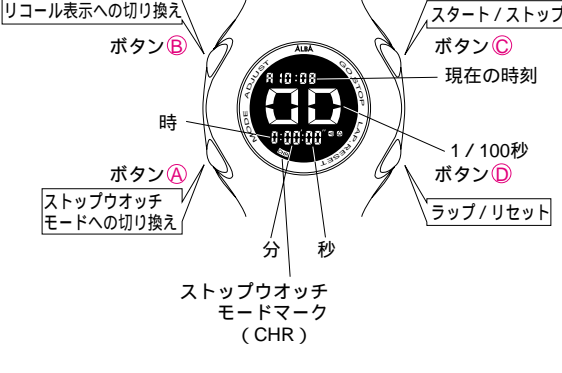
時刻修正の途中で「全点灯表示」になることがありますが、故障ではありません。ボタンCとボタンDを同時に押した状態です。その場合は、A B C D いずれか1つのボタンを押して、「時刻・カレンダーモード」にもどしてください。つきにあらためて、上記の から合わせしてください。



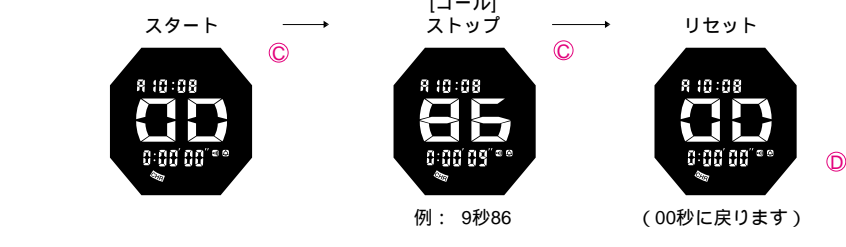
■ストップウォッチの使いかた

・1/100秒単位、10時間計測です。最大計測時間は、9時間59分59秒99です。ラップ回数は、99回まで表示します。以降は100(表示:00)101(表示:01)と表示します。

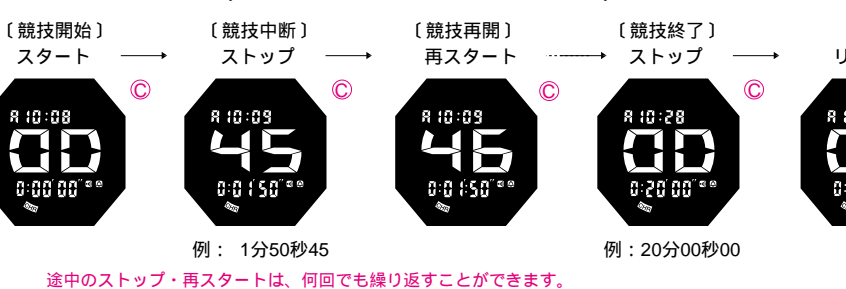
ボタンの名称とはらき



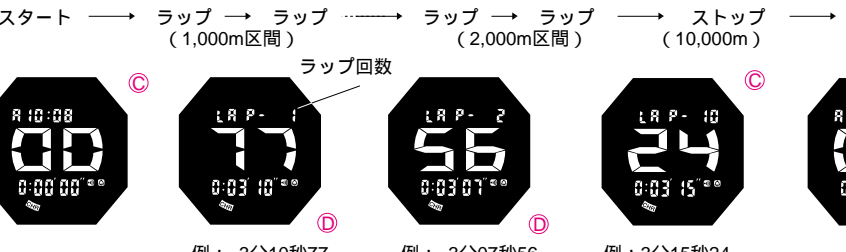
ボタンAを押して「ストップウォッチモード」にしてください。普通の使いかた



時間計測を積算でおこなう場合

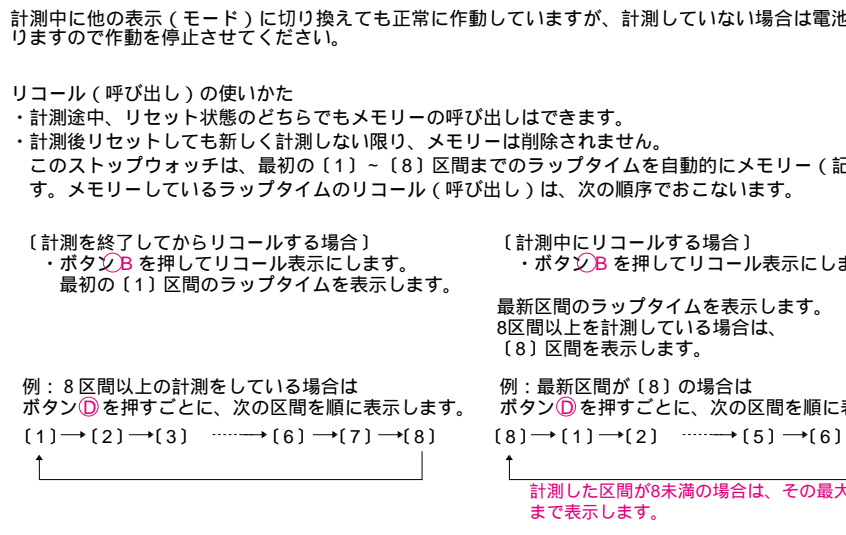


ラップ計測をおこなう場合

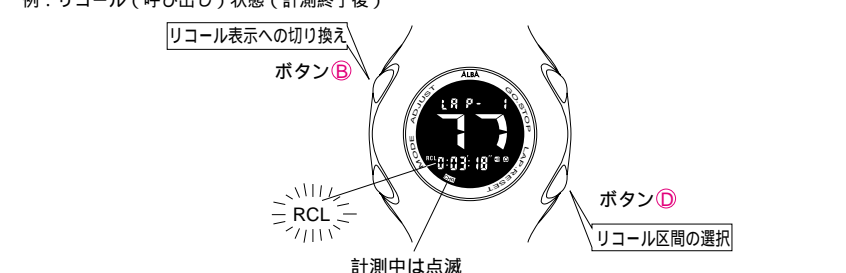


例: 10,000メートル競争(ボタンを押す順序: C D D... D D C D) ボタンDを押した後、約10秒間放置しますと自動的にストップウォッチ計測表示にもどります。ストップボタン押した後約10秒後に 上段: 現在時刻 下段: トータル時間 になります。途中のラップは、何回でもくり返すことができます。

ラップ回数は、99回まで表示します。以降は100(表示:00)101(表示:01)と順次表示します。「ラップ」を1回以上取った後の「ストップ」は、「ラップ」として数えます。



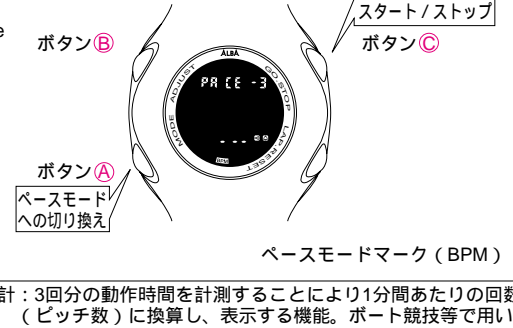
計測中に他の表示(モード)に切り換えても正常に動作していますが、計測していない場合は電池寿命が短くなりますので動作を停止させてください。



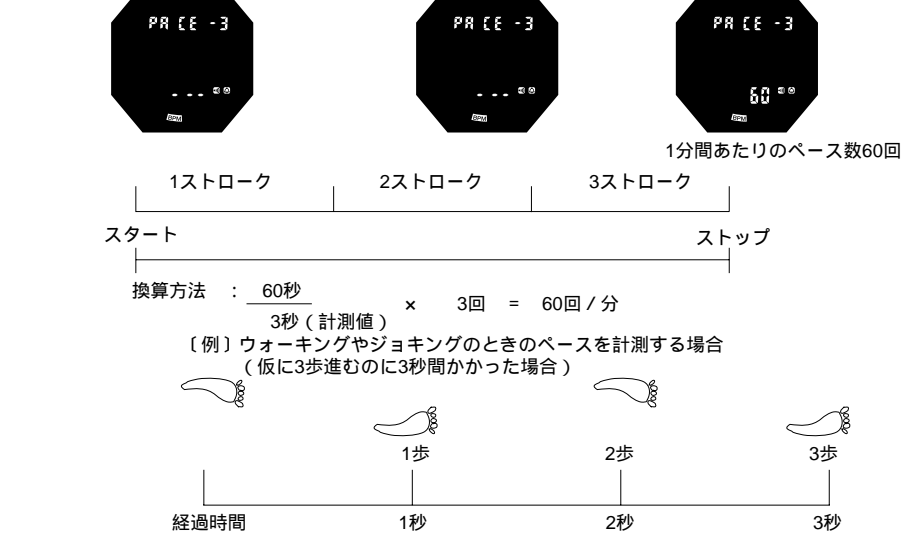
■ベース計測機能の使いかた

・最小計測単位は、1/100秒です。最大計測時間は、9秒99です。ベース回数(換算範囲)は、18~240回/分です。・3回分の動作にかかった時間を計測し、1分あたりの回数に換算する機能です。参考値としてご使用ください。ストップウォッチとの併用はできません。

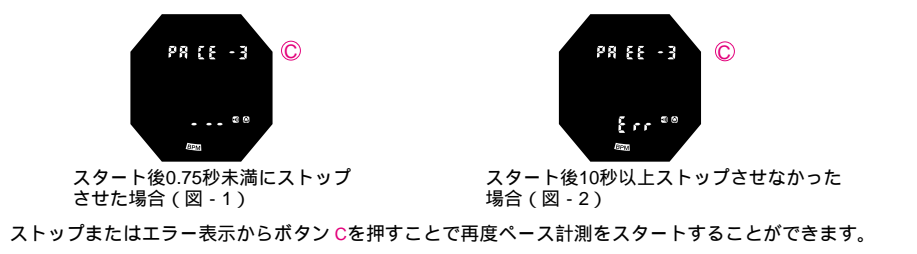
ボタンの名称とはらき



ベース計: 3回分の動作時間を計測することにより1分あたり回数(ピッチ数)に換算し、表示する機能。ポード競技等で用いられる。



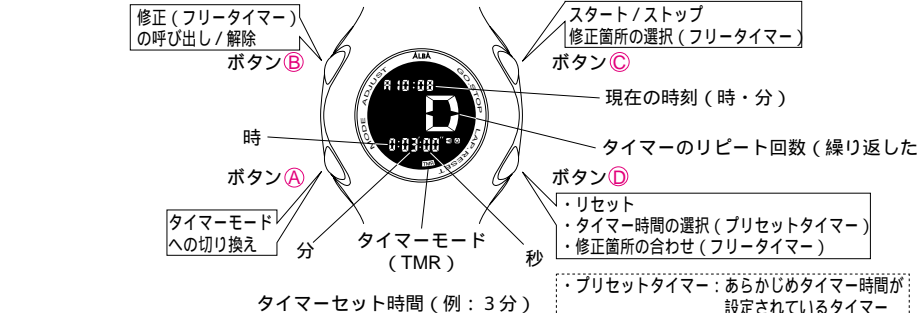
測定できるベース範囲は、18~240(ストローク/分)です。このため、ボタンCを押してスタートしてから0.75秒未満でボタンCを押してストップさせると表示は、下図-1のように表示になります。また、ボタンCを押してスタートしてから10秒以上経過してもボタンCを押さないと、自動的に下図-2のようにエラー表示(Err)になります。



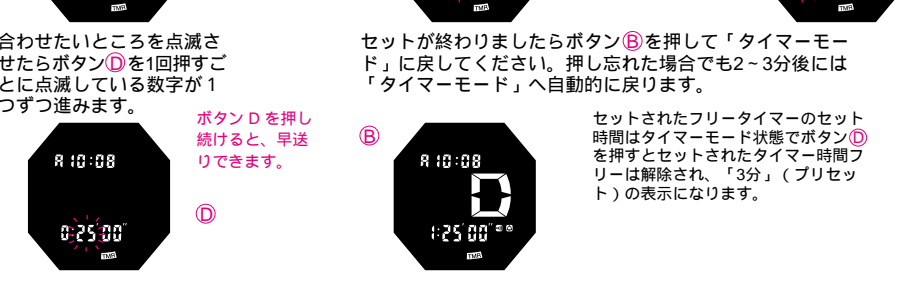
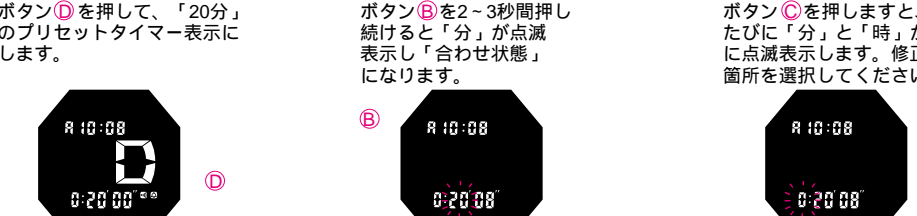
■タイマーの使いかた

・タイマーは、3分、5分、10分、15分、20分、30分、35分、40分、45分の9つの初期値がセットされたプリセットタイマーと、1分から9時間59分までの1分単位で設定可能なフリータイマーがあります。

タイマーは、リピート(繰り返し)機能のためストップさせないと繰り返し動作しますので、思いのほか必ず止めてください。



ボタンAを押して「タイマーモード」にしてください。フリータイマーの合わせかた



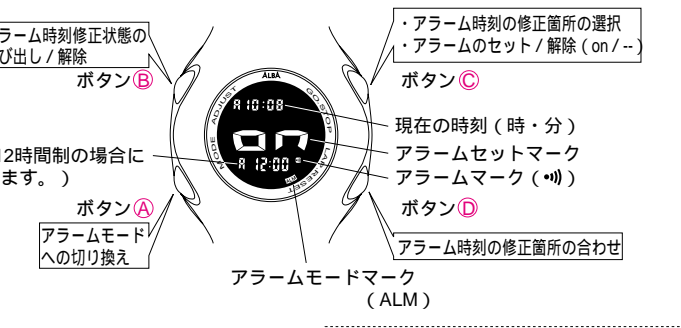
プリセットタイマーの使いかた



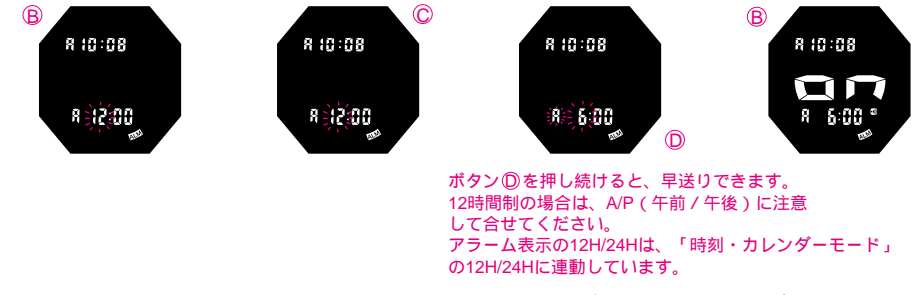
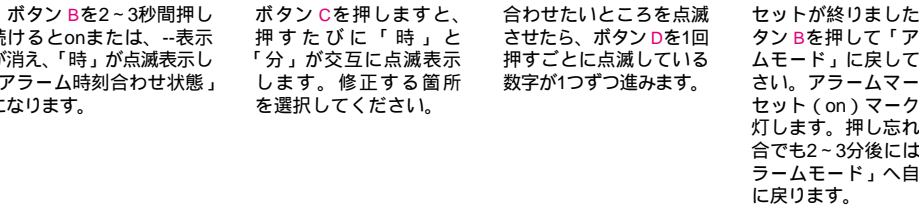
■アラームの使いかた

・デイリーアラーム付きです。アラームのセット(on) / 解除(-) 切り換えができます。アラーム設定時刻になるとアラーム音で報知します。

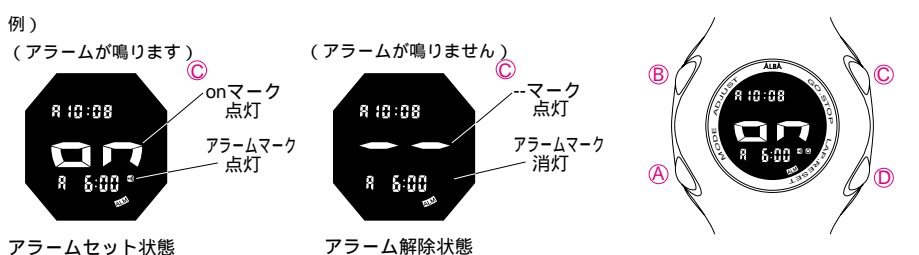
ボタンの名称とはらき



アラームモードマーク (ALM) デイリーアラーム: 毎日、1日1回設定時刻にアラームが鳴る機能(24時間制)



アラームを鳴らしたい場合、鳴らしたくない場合、アラームを止めるには、アラームモードでボタンCを押すこと、アラームモードでボタンA B C D いずれか1つのボタンを押してください。



アラーム音の試し聴き(サウンドデモンストラーション)と報時並びに操作確認音のセットと解除をする場合。

